

14春闘 教育長交渉

高教組：欠員補充の臨採用を減らして正規採用を増やすべき  
教育長：できる限り正規の職員できちんと採用したい



要求書に対する回答文書を教育長より手交

教育長…第一線で子どもたちを指導するのは先生方なので、現場の先生方の声をことあるごとに聞いて、それをビジョン・施策に反映していかねばならない。手法はいろいろあると思うが、現場の声を大事にしたいという考え方は持っている。こういう場合(高教組との交渉)で、勤務条件等について要請・

組…サポートという言葉があったが、現状としては下からの声よりも上から下ろしてくるものが多いのではないかと感じる。教職員からの声をどうくみ上げていくのか、そういう方向性があるのか確認したい。

組…県教委と学校現場の関係はどう考えているか。

池松新教育長の基本姿勢を問う

高教組は4月28日、14春闘要求書(3月20日提出)にもとづく県教委交渉をおこないました。交渉には、高教組から、本部執行部5人と深松長崎支部書記長、錦戸諫早支部書記長、柴田島原支部長が参加し、県教委は池松教育長、松尾教職員課長、荒木人事管理監、他5人が参加しました。



発行 7850-0013 長崎市川中2丁目2番5号  
長崎高教組会館  
長崎県高等学校教職員組合  
☎ (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 小田 誠  
購読料 一部10円  
組合員は組合費に含む  
メールアドレス naga-kks@fsinet.or.jp

教職員の超勤縮減の問題

組…教職員の超勤の多さについて教育長としてどう考えているか

教育長…過重な時間外勤務が長期間続くことは、職員の心身の健康に悪影響を及ぼすことが考えられるので、時間外勤務の縮減は大変重要だと考えている。私も機会あるごとに、校長会等に指導していきたい。

組…「ノー会議デー」の拡大

プラス1推進運動については、ポトムアップのとりくみとして、上からのおしつけでは

①振替ができる期間の拡大

この後、高教組が、週休日の振替制度についてのアンケート結果(別掲)を示し、振替のしやすい環境づくりとして、秋の確定交渉に向けて、

②定期考査中の「ノー会議デー」の拡大

を檢討するように要求しました。これに対して、

要求があるのだから、それら、それは一つの現場の声として真摯に受け止めて、改善できることについては、しっかりと対応していきたい。

＜振替制度についてのアンケート結果＞

○集約数 20校以上の254人 (一部学校名不明あり)

○振替制度活用の実態

振替対象の日数の総合計 1745日…A

そのうち

①振り替えて休日を確保できた 624日 (Aの日数の約36%)

②振り替えたが登校して仕事をした 501日 (Aの日数の約29%)

③振り替えできなかった 420日

※①～③のいずれにも記入されていない日数があるので、合計日数はAと一致しない。



「提案という観点から」と検討する姿勢を示しました。

教育長…基本的には正規職員で対応すべきと思うので、できる限り正規の職員を採用したいと考えている。こういう状況になる原因として、特別支援学校の児童・生徒数等がぎりぎりまで確定しないことや再任用希望の把握の時期の問題もある。一定欠員補充という要素は持つておかないと対応できない部分があると思うが、できるだけ数字を正確に押さえることで、正規職員できちんと採用していきたいと考えている。

組…待遇改善ということでは、年度が替わっても連続して臨採で雇用する場合の健康保険と公的年金の継続については、厚労省の見解を踏まえて対応するといった回答があったが、具体的にはどういうことか。



県教委出席者



組…では、今後進行状況も確認していきたい。  
※裏面に続く



高教組出席者

組…想定どおりにならない部分があることは理解しているが、過去には欠員補充の講師が100人未満だった時期もある。それがこの数年は200人以上だ。誤算があったとしても多すぎ

組…方向としては継続できるように検討すると理解している。

臨時的任用教職員の待遇改善の問題

組…想定どおりにならない部分があることは理解しているが、過去には欠員補充の講師が100人未満だった時期もある。それがこの数年は200人以上だ。誤算があったとしても多すぎ

組…方向としては継続できるように検討すると理解している。

その他の課題(健康診断問題)

【再任用短時間勤務者の健康診断】

高教組は、「要求して再任用短時間勤務者も定期健康診断の対象とする...」

【臨時者の健康診断】

定期健康診断の対象が再任用短時間勤務者まで拡大された一方で、欠員補充の臨時者は、雇用期間が1年に満たないという理由で対象外のままになっています。高教組は、「一年間のトータルの勤務時間からすれば欠員補充の臨時の方が多いのになぜか1週間程度雇用期間が短いという理由で受診対象にしないという...」



熱の入った交渉で予定時間を超え、双方ともお疲れ気味

執行部としては、新教育長は元総務部長で、組合との交渉に慣れているので、言質を取られないようにしているのかなという思いを抱きました。しかし、県教委も我々組合も、児童生徒の幸せを願っているという点で一致をすることができました。また、速報で紹介したように、労使関係について、「お互いの信頼関係を大切にしていきたい。勤務条件にかかわる事項については、労使関係を尊重して協議をしていきたい」と明言しました。県立学校教職員の労働条件の向上に高教組の果たす役割の大きさを感じています。

大幅賃上げで景気回復を！雇用破壊を許すな！ 憲法を否定する安倍暴走政治ストップ！

第85回メーデー



長崎市公会堂前広場におよそ570人が集まりました。

5月1日に、労働者の祭典、メーデーが県内各地で開催されました。第85回メーデー長崎県集会は、長崎市、諫早市、佐世保市、大村市、五島市の五会場に、おおよそ860人が集まり、高教組から各支部を中心に約60人が参加しました。諫早、佐世保、大村ではメーデー実行委員会の中心として奮闘しました。

長崎市のメーデーには、主催者発表で567人が参加しました。高教組からは15人が参加しました。開会集会では、中里メーデー実行委員長が、「安倍『暴走政治』に反対し、憲法がいきる安全・安心社会を実現しよう...」



リレートークで熱弁をふるう委員長

た「怒りの龍」を引き連れて登場し、安倍政権の策動が龍の逆鱗に触れたと語り、「怒りのうろこ」に込められた先生方の思いを伝え、「長崎の龍は君・安倍を許さない」と絶叫しました。公会堂からみなと公園まで「怒りの龍」を掲げ

ながさき9条フェスタ 2014春



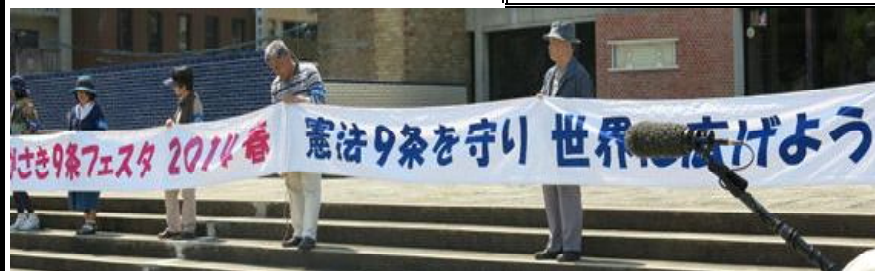
5月3日の憲法記念日、午後1時30分から長崎市公会堂前広場に今年も『ながさき9条フェスタ』が開催されました。フエスタでは、長崎9条の会の舟越歌一さんの「安倍政権が目指す戦争できる国づくりを止めよう」というあいさつがありました。「憲法9条は世界の宝です。日本を再び戦争をする国にしないために、被爆地ナガサキ



舟越代表のあいさつ

から、憲法9条を守り、世界に広げようとの思い

を発信し、憲法9条を守り抜きましょう。」というアピール文が読み上げられ、盛大な拍手で採択されました。その後『ピース9ウオーク』が公会堂から浜の町アークゲードを通して中央公園まで行われ、「憲法9条を守ろう」と市民にアピールを行いました。高教組からは長崎、諫早、島原、佐世保の各支部から合計16人が参加しました。参加の皆様、お疲れ様でした。



↑「怒りの龍」とともに高退教と仲良く記念撮影

↓五島地区集会



第85回メーデー 大村地区集会



←大村地区集会でのアトラクション

←佐世保地区集会

↓諫早地区集会

